



㊦ しっかりかんがえ ㊦ もいやりのある ㊦ みんななかよし 潮見っ子

潮見の風 12号



令和6年7月16日

校長 惣田 正宏



ホームページ

1学期もあと1週間。充実した夏休みに向けしっかり準備！

今週にも梅雨明けとなりそうです。1学期も残すところ1週間となりました。来週23日(火)は、1学期終業式です。37日間の夏休みに向け(8月9日全校登校日)、充実した日々と、夏休みでなければ経験することができないことを計画し、実践していけるよう一緒に準備をしていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

先週は、猛暑と後半は天気心配される中、水泳参観に多数ご来校いただき、ありがとうございました。今年は、市教委の派遣やコミュニティ・スクールの学校支援により、水泳サポーターの活用で子供たちの泳力が高まったように感じています。今週末には、6年生学年活動と青少年赤十字加盟校(下記参照)出前授業とのタイアップで、「着衣泳」の実習をします。授業で泳力を高めること、そして、いざという時に自分の命を可能な限り守ることができるための必要な実習だと考えていました。6年生の小学校最後の水泳授業として、実施できることを大変嬉しく思っています。関係方々のご協力に感謝しています。ありがとうございました。



全校読み聞かせ「すいかのたね」 7月8日

8日朝から、「For kid's さん」による全校読み聞かせがありました。選定された絵本は「すいかのたね」。今年亡くなられた絵本作家さとうわきこさんの人気シリーズ「ばばばあちゃん」シリーズの中の一つです。話の内容は、「ばばばあちゃんが、すいかのたねを庭にまき、それを見たねこが掘り出しますが、ただの種だったので「つまらない」と庭にうめもどしてしまいます。いぬ、うさぎ、きつね、ばばばあちゃんがみんなが同じことをしたので、とうとうすいかのたねは「いいかげんにしろ」と怒り出します。そんなたねを「早く大きくおなり」と、ばばばあちゃんが叱りつけたものだから、さあ大変。悔しかったすいかが、ぐんぐんつるを伸ばし始めたのです…。」というもの。低学年向けですが、みんな楽しく聞いていました。さとうわきこさんの絵本はたくさん図書室にもあります。ぜひ他の絵本も手に取ってほしいですね。



潮見っ子タイム「全校遊び:増やし鬼」 7月10日

10日の潮見っ子タイムは「全校鬼ごっこ(増やし鬼)」でした。熱中症と雨が心配でしたが、無事実施することができました。運営委員会が、みんなで楽しむために計画してくれたものです。最初の鬼は6年生です。6年生から捕まったら、帽子を赤に変え、鬼になって他の人を捕まえます。鬼がどんどん増えていく、増やし鬼です。さすが6年生、あっという間に赤帽子だらけになりました。あまりにも早く終わったので、2回戦をしました。2回目は、なんと1年生が鬼。人数も少ないですが、とても頑張りました。助っ人は先生方です。みんなの笑顔がはじけた鬼ごっこでした。運営委員会のみなさん、ありがとう。

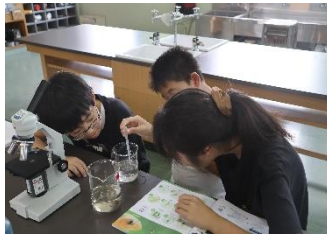


青少年赤十字(JRC)の加盟校になりました。

赤十字国際委員会と日本赤十字を含む12の国の赤十字社は、5月9日からガザの人たち・子供たちのために南部に野外病院を開設しています。その野外病院の動画を見ました。ショウ・ザ・フラッグ(赤十字の旗がたなびく)の光景に心を奪われました。私たちにできることはないのでしょうか。そんな時に、青少年赤十字の加盟校のお誘いを受けました。青少年赤十字とは、日常の学校生活の中で、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を実践的な活動を通して育成することを目的としています。この目的を達成するために、「気づき・考え・実行する」という3つの態度目標を掲げ、学校の活動をサポートしてもらいます。上記の6年生が実施する「着衣泳」もその一つです。「これをしなければいけない」といった義務的なものはありません。大げさなものではなく、この加盟が「気づき・考え・行動する」主体的な子供たちを育成する一助になればと願っています。

今月の学校あれこれ① 「顕微鏡をのぞくと」

6年生理科。「川や池のメダカは何を食べているのだろうか？」という疑問から始まり、本校の観察池にいるメダカは、エサをやらないのにどうして元気に生きているのだろうか？→ 目に見えないほど小さな生き物がいるかもしれない。と考えが広がってきます。そこで検証をするために、池の水をすくってきて顕微鏡で覗くと…。「！」元気に動き回っている生物がいます。体は透けているけど体の中の臓器みたいなものが動いている生き物を発見しました。そうプランクトンです。写真や動画ではなく、学校の池の水の中にある本物のプランクトンを見て、興味の度合いが違いました。それをメダカにやるとパクパク食べているのも観察できました。肉眼では見ることでできないミジンコやもっと小さな微生物が元気に動き回っているのを見ることができました。



学校あれこれ② 「タブレット・砂場遊び」

4日午前中、1年生が大きく育ったアサガオの観察にタブレットを使用しました。少しずつ操作を学んでいる1年生です。今日は、カメラ機能を使って、自分のアサガオを撮影します。自分のタブレットのカメラを起動すると突然自分の顔が写し出されてビックリ！反転して、早速カメラで写して回りました。どこを中心に写したらいいのか、いろいろなアングルで写して楽しんでいました。



また8日には、生活科で、砂場を使った「遊び」をしていました。砂場・道具・水…。楽しく遊びながら友だちも巻き込んで、その世界が広がっていきます。着替えも持ってきてないの、そんなことお構いなし！本当に楽しそうでした。



学校あれこれ③ 「いろいろ町たんけん！」

12日、2年生が「町たんけん」で、地域の公園や公共施設、お店や幼稚園等を探検しました。一日延びましたが逆に熱中症のリスクが低くなり、実施できてよかったです。潮見公園→山澄地区コミュニティセンター→やますみ児童センター→潮見幼稚園→潮見郵便局→お仏壇のかたやま→菓子処うちやま→みなと子ども園の順で見学して回りました。途中の路地やそこに生えている木々にも興味を持って熱心にメモを取る2年生でした。施設の職員の方やお店の方には、仕事の説明や子供たちの質問に丁寧に答えていただきました。子供たちは、お店にある品物や機械にも興味津々でした。しっかりと歩き、学んだおかげでお腹が空いたのでしょう。今日の2年生の給食は完食で、毎日町たんけんだったらいいのに(笑)と給食室のみなさんが言われていました。それだけ頑張ったのでしょ！ ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました。



校長の独り言②！ 家庭を学びの場に ～自学と生きる力の体得を目指して～

すべての子供たちが、幸せと生きがいを感じながら（生涯にわたって）主体的に学び、未来を切り開くために必要な力を身に付けるために学校はあると思っています。そのために、学校は日々授業改善に努めています。

ただ、学校だけでは上記の目標は達成できないとも思っています。というより、学校では担えないことがあるのです。子供たちの生きる力や自主性を育てるために、これらは重要な役割を担っているのです。もちろん家庭生活は、保護者が責任をもって営むものです。本来私（学校）が口出すものではないと十分にわかった上で、年長者として、潮見小学校の責任者として、子供たちの将来を考える時、「家庭を学びの場に～自学と生きる力の体得を目指して～」のために、お願いしたい事を述べます。もちろん家庭には、それぞれ保護者の願いがあり、ルールがあること承知の上で、「校長の独り言…」として聞いてください(笑)。

- ① 生活にリズムを！～早寝 早起き 朝ご飯～ 子供たちの学校での元気さ・エネルギーが違います！
- ② 「がんばり」を見逃がさずに！ 家庭学習に目を向け、必要な声かけ・点検をおねがいします！
- ③ 勉強時間を決めて！ 最初は短く、だんだん長く。目安：15分×学年 ながら勉強はダメです！
- ④ 進んで学ぶ好奇心を！ 身の回りや社会の出来事（ニュース）に目が向くよう働きかけましょう！
育友会行事や地域行事への参加を進めましょう！
- ⑤ 読書に親しむ！ 読書の習慣がつくことは一生の宝です。人生が豊かになります。まずは、図書館や書店で本との出会いを楽しみましょう！家族での読書や読み聞かせも楽しいものです。
- ⑥ 情報（インターネット・携帯電話）との正しいつき合い方を！ 役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。
- ⑦ 一緒に家事を！ 家族の一員として責任感と自立心を育てましょう。家事はお母さんが担うものではありません。協力して家事を行うことが当たり前だということを徹底しましょう！
- ⑧ 人や地域社会の「お役」に立つ行動を！「おかげさまで」の心を忘れず、支え励まし合う大切さを伝える。